

平成18年2月1日

各位

会社名 旭硝子株式会社  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 門松正宏  
 (コード番号 5201 東証第1部)  
 問合せ先 広報・IR室長 川上真一  
 (TEL. 03-3218-5509)

## 業績予想(連結・単独)の修正に関するお知らせ

平成17年度12月期(平成17年1月1日~平成17年12月31日)の業績予想について、平成17年11月9日に公表しました連結業績予想及び平成17年8月23日に公表しました単独業績予想を、下記の通り修正しますので、お知らせします。

## 記

1. 17年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成17年1月1日~平成17年12月31日)  
 (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年11月9日発表)	1,500,000	130,000	126,000	81,000
今回修正予想(B)	1,520,000	118,000	118,000	60,000
増減額(B-A)	20,000	12,000	8,000	21,000
増減率	1.3	9.2	6.3	25.9
前期(平成16年12月期実績)	1,475,726	139,403	135,688	78,287

## 2. 修正の理由(連結)

ガラス事業は、板ガラス部門の各地域において原燃材料費高騰の影響を強く受けたことにより、当初予想を下回る業績となる見込みです。電子・ディスプレイ事業は、CRT用ガラスの販売数量及び販売価格が低調でしたが、液晶用ガラス基板やPDP用ガラス基板の販売が引き続き好調であったことから、ほぼ当初予想通りの業績となる見込みです。化学事業は、フッ素樹脂製品を中心に販売は比較的堅調でしたが、第4四半期において塩ビ市況が低調に推移したことなどから、当初予想を下回る業績となる見込みです。

以上の結果に加え、海外子会社のCRT用ガラス等の生産設備を中心とした固定資産について減損処理を行い、特別損失を計上することから、売上高は当初予想を若干上回ったものの、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当初予想を下回る見通しです。

3. 17年12月期通期単独業績予想数値の修正(平成17年1月1日~平成17年12月31日)  
 (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年8月23日発表)	560,000	38,000	50,000	36,000
今回修正予想(B)	575,000	46,000	62,000	43,000
増減額(B-A)	15,000	8,000	12,000	7,000
増減率	2.7	21.1	24.0	19.4
前期(平成16年12月期実績)	579,875	37,152	41,257	33,268

#### 4. 修正の理由（単独）

電子・ディスプレイ事業において液晶用ガラス基板やPDP用ガラス基板の販売が引き続き好調であったことに加え、ガラス事業における自動車ガラスの国内販売・輸出や化学事業でのクロールアルカリ・ウレタン製品の販売が堅調に推移したことから、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当初予想を上回る見通しです。

（補足資料）

#### 事業セグメント別業績見込み（連結）

平成17年12月期通期

（単位：億円）

事業 セグメント	売上高			営業利益		
	前回発表予想	今回発表予想	増減	前回発表予想	今回発表予想	増減
ガラス	7,400	7,550	150	480	380	100
電子・ディスプレイ	4,400	4,400	0	610	610	0
化学	2,950	3,000	50	190	160	30
その他	750	800	50	20	30	10
消去	500	550	50	-	-	-
合計	15,000	15,200	200	1,300	1,180	120

以 上